

平成16年11月17日

筑波研究学園都市記者会 御中

筑波大学

チリ国の算数数学教育改善に本学教育開発国際協力研究センターが協力
APEC 本会議、日チリ首脳会談（11月22日）と連動した協力事業

このことについて、本年4月、サンティアゴで開催された APEC 教育大臣会合において、チリ国のビタル教育大臣より、河村文部科学大臣(当時)へ、日本の算数教育のノウハウを同国へ導入したい旨の協力要請がありました。11月22日の小泉首相による日チリ首脳会談の主要議題にもなっています。

同国は現在、貧困からの脱出を大きな課題としており、経済産業基盤の醸成に不可欠な算数数学能力の向上を必要としています。しかし、同国は国際数学理科調査(TIMSS)における到達度では、最下位国群の一角をなしています。そのため、最上位国群に属する日本の算数数学教育のノウハウ、特に日本の「授業研究」の手法を中核に、モデル校作り、教師用指導書作成などを通して、算数数学の授業改善を進めたいというのが同国からの要請です。

文部科学省では、外務省、JICA と協議し、ホンジュラス国「算数指導力向上」プロジェクトへの協力実績を持つ本学を要請受入先に選定しました。本学ではその要請を受けて、本学の教育開発国際協力研究センター及び附属小学校が、JICA と共同してチリ国「算数教育の改善」プロジェクトを推進することになりました。

今回、同国教育省より2名の関係者が来学し、プロジェクト推進について協議する他、地域の学校（つくば市立山口小学校、吾妻中学校）、県教員研修センター等に赴き、実地で算数数学の授業を体験（別紙日程表参照）することになりましたのでお知らせします。

取材については、随時お受けいたします。

連絡先：筑波大学教育開発国際協力研究センター

助教授 磯田正美

電話 029 - 853 - 7286

筑波大学総務・企画部広報課

電話 029 - 853 - 2040

FAX 029 - 853 - 2014